

脱炭素社会に備えよう!



長岡市地球温暖化
対策実行計画

◎長岡市の気候変動

【夏場の高温】

最高気温35℃以上の猛暑日の年平均日数が、1980年頃と比べて、2020年頃は約4倍の9.4日に拡大。2023年の猛暑日は過去最多の34日を記録しました。

【雨や雪の降り方】

なかなか降らないが、降るときはまとまって降る傾向に。2023年の8月は、月降水量が13.5mm（平年値163.9mm）と極端な少雨となり渇水も。

資料：新潟県「<参考資料>気候変動による新潟県への影響 データ集(2022)」を基に作成

【降雨のイメージ】

出典) 新潟地方気象台資料 より加工して作成



筒が大きくなると…
なかなか水が出ないが、
一度に出る水量は多い

(水蒸気以外の要因もあります)



知っておきたい! ビジネスへの影響

【脱炭素経営について取引先から求められたり、新たな取引先を開拓】

CO₂排出量を最小限に抑えるために、取引先の再構築が進んでいく可能性があります。

【製品や企業のイメージ向上と人材確保】

環境に配慮した製品やサービスに関心を示す消費者が増える可能性があります。
環境への取組が、新卒採用など人材確保に影響を与える可能性があります。

【情報収集や専門知識の習得】

国の環境規制やCO₂排出量、環境に考慮した価格設定など、脱炭素化への対応に必要なスキルが求められる可能性があります。

事業者が脱炭素に取り組むメリットとは?

1 脱炭素に取り組んでいる企業が
増えてきているみたいですね

2 光熱費削減のほかに
環境に配慮していることで
企業のイメージアップや
環境意識の高いお客様との
ビジネスチャンスにも
つながっているという話があるよ

3 環境問題に関心を持つ人が多いため
一緒に働きたいと思う人が
増えるかもしれませんね!

4 環境にやさしい企業を目指して
私たちもすぐに取組を進めましょう!

入社希望

企業の競争力に直結!

脱炭素化のことを会社で考えませんか



◎世界では、カーボンニュートラル(CN)を目標とする国が急増し、世界全体のGDPの約9割を占めています。そのため日本では、グリーントランスフォーメーション(GX)として、エネルギーの安定供給、経済成長、脱炭素の3つの実現を目指しています。

まずは、脱炭素化に対する意識の醸成やCO₂排出量の算定から着手することが重要です。

1. 地球温暖化の現状や、事業に影響を与える気候変動リスク等の情報収集

脱炭素経営に関連するセミナーや講演会へ積極的に参加したり、主な取引先や顧客との会話を通し、CNへの取組の状況や要望、ニーズの変化等の情報を収集しましょう。

2. 自社の事務・管理運営・製品などにおけるCO₂排出実態の把握

CO₂排出量を実際に算定してみましょう。事業活動をCO₂排出の視点で捉えることで、排出削減対策につなげることができます。

※参考：日本商工会議所「CO₂チェックシート」
エネルギー消費量やCO₂排出量を簡単に見える化するツール



今日からできる! 事務所、工場、店舗での取組

- 照明をLED化しましょう。
(R5.11「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」で、電球形やコンパクト形蛍光灯だけでなく、直管蛍光管などの一般照明用蛍光灯について、製造と輸出入の廃止期限が2027年末となりました。)
- 省エネ性能の高い機器に更新しましょう。
- 窓や壁、床、配管、扉などに断熱材を活用しましょう。
- 屋根の断熱塗装、断熱シャッターの導入をしましょう。
- エコドライブを実践しましょう。
- エコカーを活用しましょう。
- 太陽光発電設備と蓄電池を設置しましょう。
- 地産地消の取引を優先しましょう。
- 廃棄方法までを考えた製品開発をしましょう。
- 飲食店では、食品ロス削減に努めましょう。
- エネルギーの消費管理システムで見える化しましょう。

脱炭素に取り組むための参考サイト「ながおか省エネ・再エネポータル」

◆省エネ・再エネの基礎情報のほか、省エネ診断や各種補助制度・資金調達の情報もあります。

※省エネ診断の実施が条件となる支援制度も増加しています。

